



令和4年

新潟市 結婚・出生に関する意識調査
補足分析結果

新潟市こども未来部こども政策課

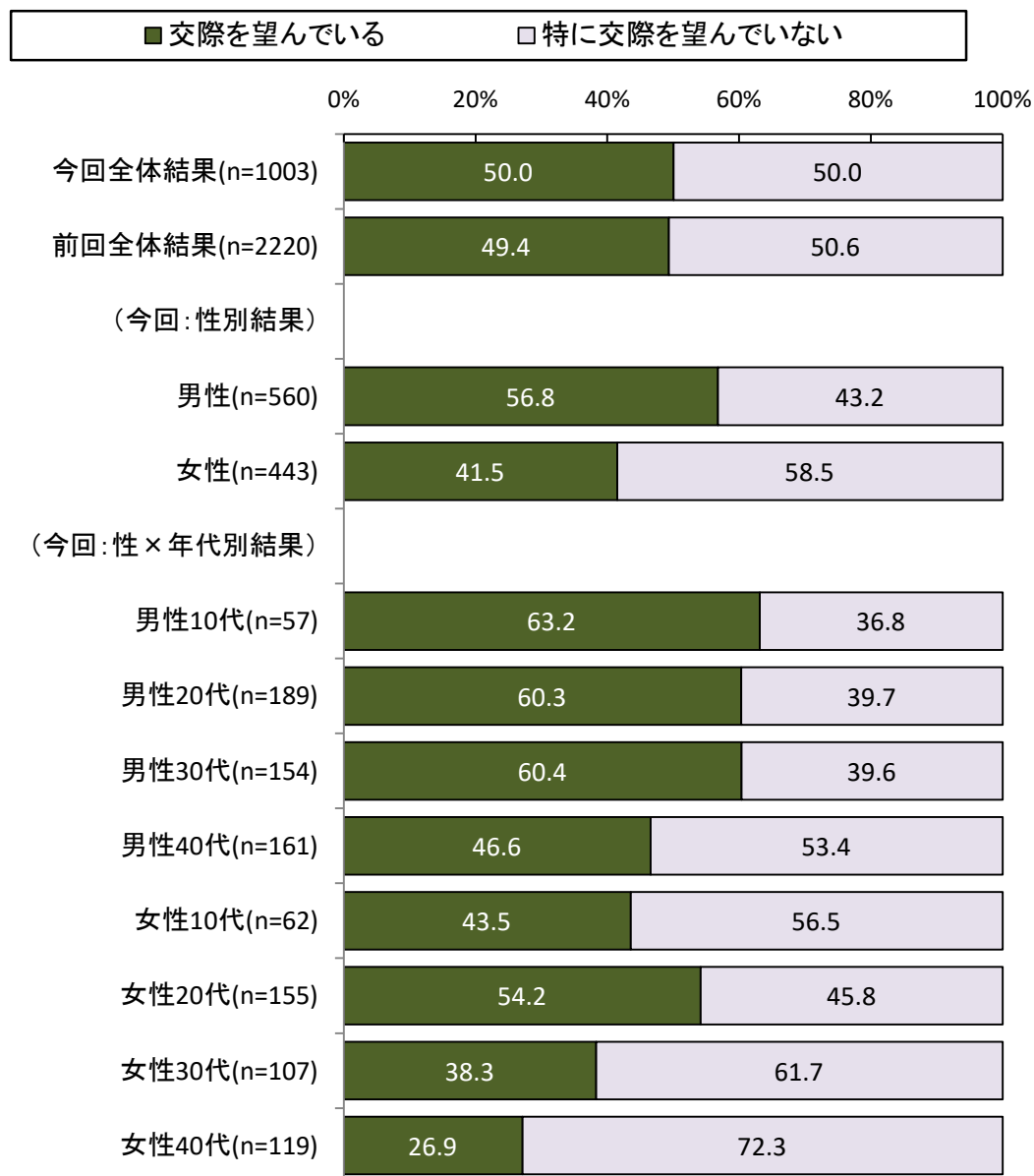
目次

- (交際している異性はいない方対象) 異性との交際の希望について…… 1
- (交際を望んでいる方対象) コロナ禍以前との異性との出会いの変化について…… 2
- (交際を望んでいる方対象) 出会い方の希望について…… 3
- (交際している異性のいる方対象) 知り合ったきっかけについて…… 5
- 結婚(事実婚を含む)に対する考えについて…… 6
 - (いずれ結婚するつもりの方対象) コロナ禍以前と比べての結婚に対する意識の変化について…… 7
 - (結婚に際して障害になることがあると思う方対象) 最大の障害について…… 8
- 独身肯定感と結婚肯定感の比較について…… 9
- 晩婚化・未婚化進行情勢の主要原因について…… 10
- 晩婚化・未婚化進行の抑止策について…… 11

【本資料(補足分析)について】

R4年の「新潟市 結婚・出生に関する調査」の結果の内、「独身」でかつ「交際している異性がない」という回答データに絞って分析したものです。

◆（交際している異性はいない方対象）異性との交際の希望について

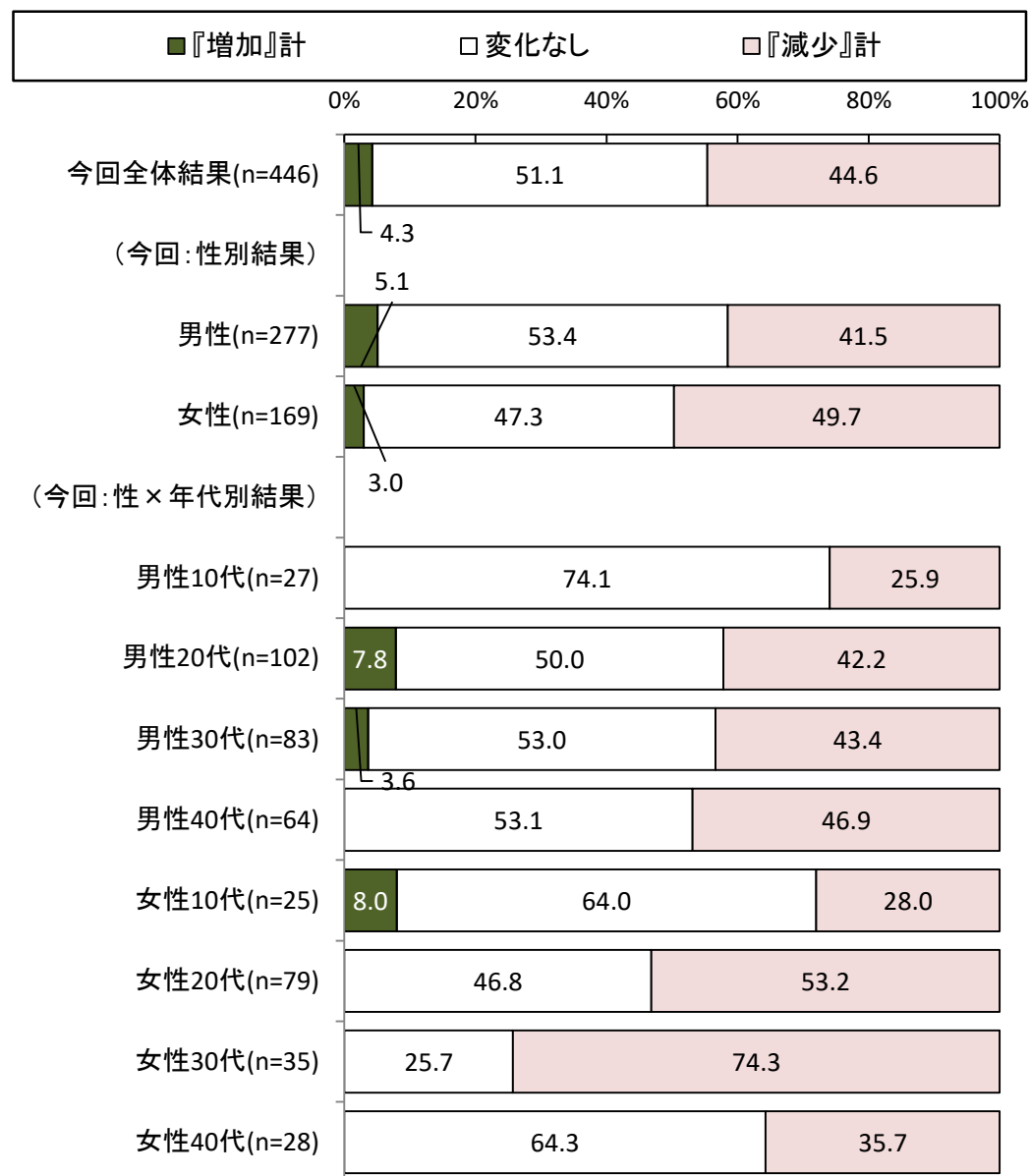


※前回全体結果値は無回答を除外した再計算値を掲載した。

- 前回と同じく交際希望者は半数です。
- 交際希望者の割合は女性よりも男性の方が高くなっています。
- 男性は40代で、女性は30代以降、希望者の割合が10%以上減少します。
- 見方を変えると、男性は30代までに、女性は20代までに交際相手と出会うかどうかの一つの節目とされます。

【前回調査について】
平成26年11月18日～平成27年1月19日の間に実施。

◆（交際を望んでいる方対象）コロナ禍以前との異性との出会いの変化について



➤ 4割台は出会いが『減少した』と感じています。

➤ 『減少した』と感じている割合は女性の方が高くなっています。

➤ 『増加した』との回答が皆無の年代も散見しています。また、女性の30代は特に『減少した』の割合が高く、4人に3人そう感じています。

※前回はコロナ禍以前のため未調査項目。

また、「わからない」を除外した再計算値を掲載した。

◆（交際を望んでいる方対象）出会い方の希望について①

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
今回全体結果 (n=502)	職場や仕事の関係、アルバイトで (53.9%)	友人やきょうだいを通じて (39.5%)	インターネットで（マッチングアプリを含む） (25.4%)	地域のイベントで (21.6%)	街なかや旅先で (21.0%)
（今回：性別結果）					
男性 (n=318)	職場や仕事の関係、アルバイトで (53.8%)	友人やきょうだいを通じて (33.3%)	インターネットで（マッチングアプリを含む） (27.7%)	地域のイベントで (24.5%)	街なかや旅先で (23.1%)
女性 (n=184)	職場や仕事の関係、アルバイトで (54.1%)	友人やきょうだいを通じて (50.1%)	学校以外のサークル活動やクラブ活動、習い事で (28.6%)	インターネットで（マッチングアプリを含む） (21.4%)	学校で (20.3%)
（今回：性×年代別結果）					
男性10代 (n=36)	学校で (79.3%)	職場や仕事の関係、アルバイトで (75.2%)	幼なじみ、隣人関係 (25.8%)	学校以外のサークル活動やクラブ活動、習い事で (22.1%)	インターネットで（マッチングアプリを含む） (19.6%)
男性20代 (n=114)	職場や仕事の関係、アルバイトで (48.5%)	友人やきょうだいを通じて (45.8%)	インターネットで（マッチングアプリを含む） (30.0%)	地域のイベントで (24.1%)	学校で (21.3%)
男性30代 (n=93)	職場や仕事の関係、アルバイトで (53.0%)	友人やきょうだいを通じて (37.3%)	インターネットで（マッチングアプリを含む） (34.7%)	地域のイベントで (33.3%)	婚活イベントで (26.6%)
男性40代 (n=75)	職場や仕事の関係、アルバイトで (52.6%)	街なかや旅先で (35.6%)	地域のイベントで (25.9%)	友人やきょうだいを通じて (21.4%)	インターネットで（マッチングアプリを含む） (19.6%)
女性10代 (n=27)	学校で (79.3%)	職場や仕事の関係、アルバイトで (48.5%)	学校以外のサークル活動やクラブ活動、習い事で (41.0%)	友人やきょうだいを通じて (36.1%)	幼なじみ、隣人関係 (35.9%)
女性20代 (n=84)	友人やきょうだいを通じて (54.4%)	職場や仕事の関係、アルバイトで (53.4%)	学校以外のサークル活動やクラブ活動、習い事で (23.3%)	インターネットで（マッチングアプリを含む） (23.1%)	地域のイベントで (19.0%)
女性30代 (n=41)	友人やきょうだいを通じて (64.3%)	職場や仕事の関係、アルバイトで (52.9%)	婚活イベントで (37.0%)	インターネットで（マッチングアプリを含む） (28.1%)	学校以外のサークル活動やクラブ活動、習い事で (21.3%)
女性40代 (n=32)	職場や仕事の関係、アルバイトで (61.9%)	学校以外のサークル活動やクラブ活動、習い事で (41.4%)	友人やきょうだいを通じて (32.5%)	地域のイベントで (22.9%)	街なかや旅先で (20.4%)

➤ 半数以上は「職場や仕事関係等」を希望しています。

➤ 男性は「インターネット」が第3位にあがります。

➤ 「インターネット」は男性20代～30代や女性30代で一段高く3割前後あがっています。一方で、女性30代の3人に2人程度は「友人・きょうだいを通じて」を望んでいます。

※前回は未調査項目。

「アルバイト」は「職場・仕事」に含めて再集計した。

◆（交際を望んでいる方対象）出会い方の希望について②

上段：度数 下段：割合	合計	学校で	職場や仕事 の関係、アルバイトで	幼なじみ、隣人 関係	学校以外 のサークル活動や クラブ活動、習い 事で	友人やきょうだい を通じて	見合いで （親戚や上役など の紹介も含む）	結婚相談 所で	インター ネットで （マッチングアプ リを含む）	婚活イベ ントで	地域のイ ベントで	街なかや 旅先で	その他
全体結果	502 100.0%	90 18.0%	271 53.9%	79 15.6%	101 20.1%	198 39.5%	56 11.1%	35 6.9%	128 25.4%	79 15.8%	109 21.6%	105 21.0%	13 2.6%
学校で	90 100.0%	90 100.0%	56 61.5%	24 26.6%	26 28.7%	20 22.4%	0 0.0%	0 0.0%	12 13.0%	0 0.0%	4 4.3%	1 0.7%	0 0.0%
職場や仕事 の関係、アルバイトで	271 100.0%	56 20.5%	271 100.0%	41 15.2%	52 19.1%	104 38.5%	24 8.8%	11 4.0%	51 18.9%	26 9.7%	38 14.2%	42 15.6%	1 0.4%
幼なじみ、隣人 関係	79 100.0%	24 30.6%	41 52.5%	79 100.0%	10 12.6%	27 34.8%	6 7.6%	2 2.7%	10 12.8%	6 7.2%	11 13.8%	7 9.3%	0 0.0%
学校以外 のサークル活動や クラブ活動、習い 事で	101 100.0%	26 25.8%	52 51.2%	10 9.8%	101 100.0%	33 32.5%	3 3.5%	2 1.7%	17 16.5%	10 9.6%	19 19.2%	16 16.1%	1 1.3%
友人やきょうだい を通じて	198 100.0%	20 10.2%	104 52.6%	27 13.8%	33 16.5%	198 100.0%	26 12.9%	7 3.6%	38 19.0%	22 10.9%	25 12.4%	40 20.1%	0 0.2%
見合いで（親戚や 上役などの紹介も 含む）	56 100.0%	0 0.0%	24 43.1%	6 10.8%	3 6.3%	26 45.9%	56 100.0%	11 19.3%	7 12.5%	10 18.1%	9 16.2%	10 17.4%	0 0.0%
結婚相談 所で	35 100.0%	0 0.0%	11 31.2%	2 6.1%	2 4.8%	7 20.6%	11 31.0%	35 100.0%	11 32.8%	14 41.3%	4 12.5%	0 0.0%	0 0.0%
インター ネットで（マッチ ングアプリを含む）	128 100.0%	12 9.2%	51 40.0%	10 7.9%	17 13.1%	38 29.5%	7 5.4%	11 8.9%	128 100.0%	34 26.3%	29 22.6%	17 13.1%	1 0.7%
婚活イ ベントで	79 100.0%	0 0.0%	26 33.0%	6 7.1%	10 12.2%	22 27.3%	10 12.7%	14 18.0%	34 42.3%	79 100.0%	24 29.9%	7 8.5%	0 0.0%
地域のイ ベントで	109 100.0%	4 3.6%	38 35.3%	11 10.0%	19 17.8%	25 22.6%	9 8.3%	4 4.0%	29 26.5%	24 21.9%	109 100.0%	39 35.4%	1 1.2%
街なか や旅先で	105 100.0%	1 0.6%	42 40.2%	7 7.0%	16 15.4%	40 37.9%	10 9.2%	0 0.0%	17 15.8%	7 6.4%	39 36.6%	105 100.0%	2 1.6%
その他	13 100.0%	0 0.0%	1 8.5%	0 0.0%	1 9.7%	0 3.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	0 0.0%	1 9.7%	2 12.5%	13 100.0%

- 同設問間でのクロス集計結果は上表のとおりです。4割超のマスについては灰色網掛けを施しています。
- 様々な出会い方の中で「職場や仕事関係等」が併せて回答されています。
- 一方で、「婚活イベント」に関しては「インターネット」との結びつきが特に強いことが伺えます。

◆（交際している異性のいる方対象）知り合ったきっかけについて

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
今回全体結果 (n=389)	職場や仕事の関係、アルバイトで (26.5%)	インターネットで (マッチングアプリを含む) (25.6%)	学校で (21.1%)	友人やきょうだいを通じて (12.2%)	学校以外のサークル活動やクラブ活動、習い事で (4.2%)
前回全体結果 (n=1022)	職場や仕事の関係、アルバイトで (29.5%)	学校で (26.1%)	友人やきょうだいを通じて (20.1%)	インターネットで (6.1%)	学校以外のサークル活動やクラブ活動、習い事で (5.5%)
(今回：性別結果)					
男性 (n=170)	学校で (28.2%)	職場や仕事の関係、アルバイトで (24.0%)	インターネットで (マッチングアプリを含む) (22.3%)	友人やきょうだいを通じて (12.5%)	学校以外のサークル活動やクラブ活動、習い事で (3.2%)
女性 (n=218)	職場や仕事の関係、アルバイトで (28.5%)	インターネットで (マッチングアプリを含む) (28.2%)	学校で (15.5%)	友人やきょうだいを通じて (12.0%)	学校以外のサークル活動やクラブ活動、習い事で (5.0%)
(今回：性×年代別結果)					
男性10代 (n=22)	学校で (90.3%)	インターネットで (マッチングアプリを含む) (4.9%)	友人やきょうだいを通じて (3.1%)	職場や仕事の関係、アルバイトで (1.7%)	幼なじみ、隣人関係 (0.0%)
男性20代 (n=99)	学校で (26.7%)	職場や仕事の関係、アルバイトで (25.1%)	インターネットで (マッチングアプリを含む) (19.0%)	友人やきょうだいを通じて (16.0%)	学校以外のサークル活動やクラブ活動、習い事で (4.7%)
男性30代 (n=26)	インターネットで (マッチングアプリを含む) (42.6%)	職場や仕事の関係、アルバイトで (24.8%)	友人やきょうだいを通じて (18.2%)	街なかや旅先で (5.7%)	学校で (3.1%)
男性40代 (n=23)	職場や仕事の関係、アルバイトで (39.2%)	インターネットで (マッチングアプリを含む) (29.9%)	街なかや旅先で (5.9%)	学校で (3.3%)	学校以外のサークル活動やクラブ活動、習い事で (3.3%)
女性10代 (n=15)	学校で (57.4%)	学校以外のサークル活動やクラブ活動、習い事で (17.6%)	職場や仕事の関係、アルバイトで (14.9%)	友人やきょうだいを通じて (10.2%)	幼なじみ、隣人関係 (0.0%)
女性20代 (n=118)	インターネットで (マッチングアプリを含む) (32.3%)	職場や仕事の関係、アルバイトで (26.2%)	学校で (19.6%)	友人やきょうだいを通じて (12.0%)	街なかや旅先で (2.5%)
女性30代 (n=43)	インターネットで (マッチングアプリを含む) (29.6%)	職場や仕事の関係、アルバイトで (28.9%)	友人やきょうだいを通じて (14.0%)	学校以外のサークル活動やクラブ活動、習い事で (9.3%)	学校で (5.5%)
女性40代 (n=42)	職場や仕事の関係、アルバイトで (39.0%)	インターネットで (マッチングアプリを含む) (25.0%)	友人やきょうだいを通じて (10.6%)	地域のイベントで (5.9%)	街なかや旅先で (4.0%)

➤ 約4人に1人は「職場や仕事関係等」で知り合っています。

➤ 前回調査よりも「インターネット」が大きく伸びており、こちらも4人に1人の契機となっています。

➤ 「インターネット」は男性30代と女性20代～30代で第1位の契機となっています。

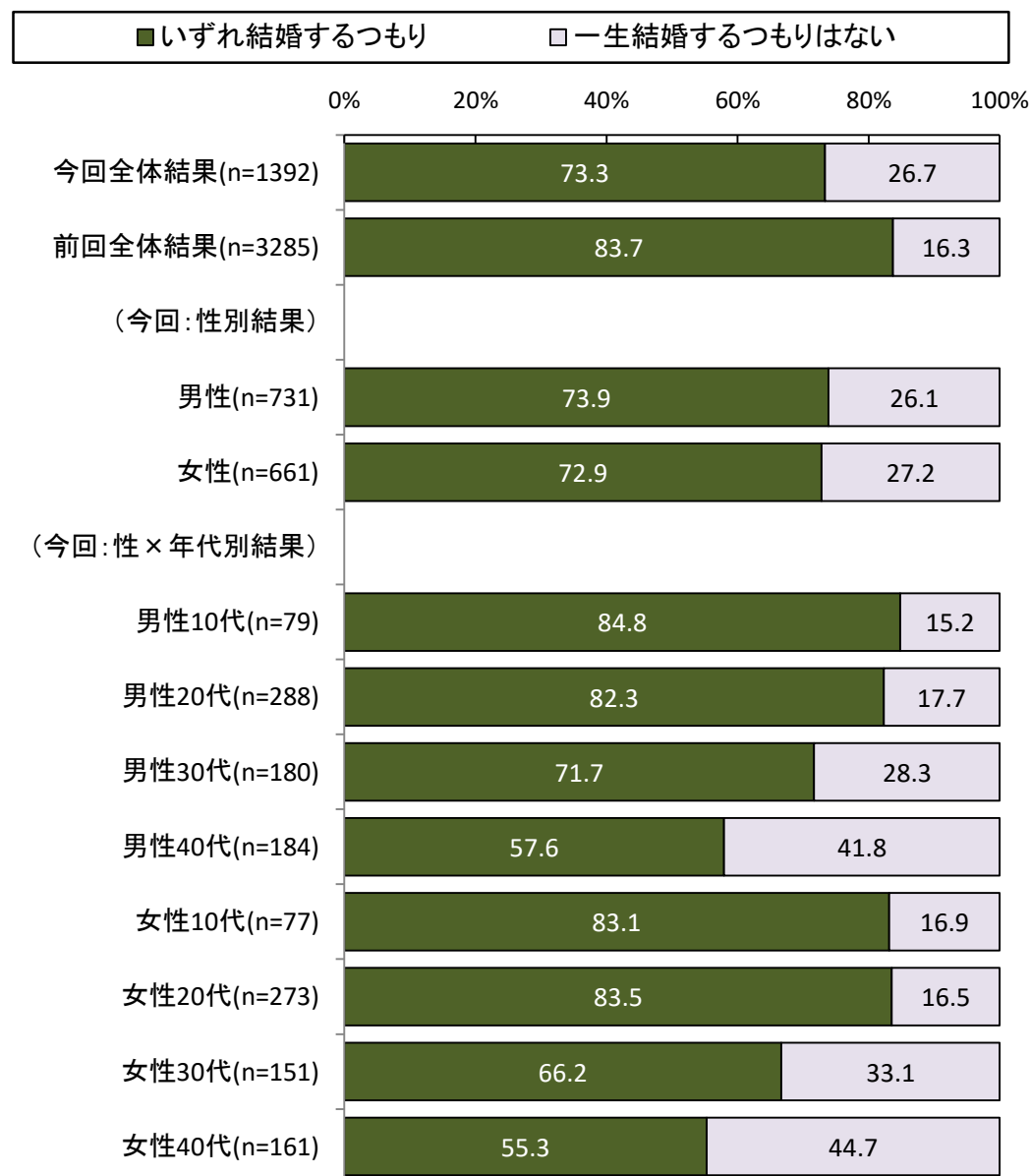
➤ 前項の〈出会い方の希望〉において「友人・きょうだいを通じて」は相当数あがりましたが、本項では各性・年代とも回答は1割台以下にとどまり、希望と現実の乖離がみられます。

※前回全体結果値は無回答・不明を除外した再計算値を掲載した。

「アルバイト」は「職場・仕事」に含めて再集計した。

「その他」は掲載除外とした。

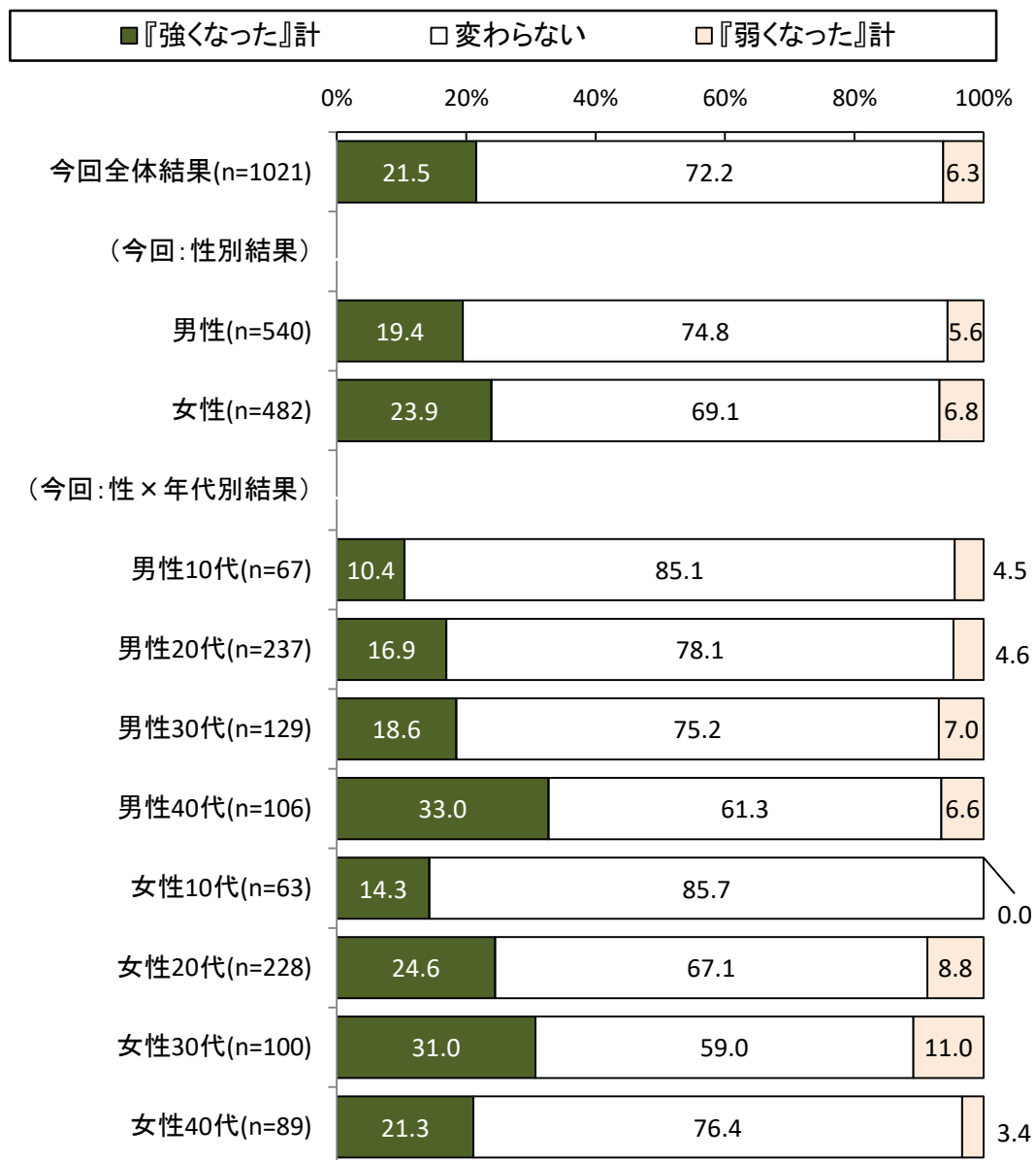
◆結婚（事実婚を含む）に対する考えについて



※前回全体結果値は無回答を除外した再計算値を掲載した。

- 前回よりも結婚意向者は1割程度低下しています。
- 結婚意向者の割合は男女同程度です。
- 男女とも年齢層が上がるほど結婚意向者の割合は減少する傾向にあります。
- 前出の<異性との交際の希望について>と比べると結婚意向者の割合が高くなるのは、『交際している異性のいる方』も含めて質問しているためと思われます。

◆ (いずれ結婚するつもりの方対象) コロナ禍以前と比べての結婚に対する意識の変化について



- 多数は『変わらない』としています。
- 各性・年代とも『強くなった』の割合が『弱くなった』の割合を上回ります。
- 『強くなった』の割合が一段高いのは、男性40代と女性30代で、3人に1人弱がそう感じています。

※前回はコロナ禍以前のため未調査項目。

◆（結婚に際して障害になることがあると思う方対象）最大の障害について

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
今回全体結果 (n=521)	結婚後の資金面 (33.6%)	結婚資金 (14.2%)	結婚生活のための住居 (10.0%)	親との同居や扶養 (9.2%)	職業や仕事上の問題 (7.5%)
前回全体結果 (n=2061)	結婚資金（挙式や新生活の準備のための費用） (37.7%)	職業や仕事上の問題 (13.1%)	学校や学業上の問題 (11.8%)	結婚生活のための住居 (9.2%)	親との同居や扶養 (8.8%)
（今回：性別結果）					
男性 (n=272)	結婚後の資金面 (35.7%)	結婚資金 (22.1%)	結婚生活のための住居 (12.1%)	親との同居や扶養 (8.8%)	職業や仕事上の問題 (5.1%)
女性 (n=249)	結婚後の資金面 (31.3%)	職業や仕事上の問題 (10.0%)	親との同居や扶養 (9.6%)	結婚生活のための住居 (7.6%)	親の承諾 (7.2%)
（今回：性×年代別結果）					
男性10代 (n=30)	結婚資金 (43.3%)	結婚後の資金面 (20.0%)	結婚生活のための住居 (13.3%)	親の承諾 (10.0%)	学校や学業上の問題 (6.7%)
男性20代 (n=117)	結婚後の資金面 (33.3%)	結婚資金 (25.6%)	結婚生活のための住居 (17.9%)	職業や仕事上の問題 (8.5%)	学校や学業上の問題 (3.4%)
男性30代 (n=66)	結婚後の資金面 (43.9%)	親との同居や扶養 (18.2%)	結婚資金 (9.1%)	結婚生活のための住居 (6.1%)	健康上のこと (6.1%)
男性40代 (n=58)	結婚後の資金面 (39.7%)	結婚資金 (19.0%)	親との同居や扶養 (15.5%)	結婚生活のための住居 (6.9%)	年齢上のこと (5.2%)
女性10代 (n=33)	結婚後の資金面 (33.3%)	学校や学業上の問題 (33.3%)	職業や仕事上の問題 (24.2%)	結婚生活のための住居 (3.0%)	結婚資金 (3.0%)
女性20代 (n=111)	結婚後の資金面 (36.9%)	職業や仕事上の問題 (10.8%)	結婚生活のための住居 (9.9%)	結婚資金 (9.9%)	親の承諾 (9.0%)
女性30代 (n=50)	結婚後の資金面 (38.0%)	健康上のこと (18.0%)	親との同居や扶養 (10.0%)	結婚生活のための住居 (8.0%)	職業や仕事上の問題 (8.0%)
女性40代 (n=55)	親との同居や扶養 (23.6%)	年齢上のこと (14.5%)	結婚後の資金面 (12.7%)	親の承諾 (9.1%)	結婚生活のための住居 (5.5%)

➤ 「結婚後の資金面」や「結婚資金」が上位を占め、半数弱が資金面を最大の障害としています。

➤ 回答肢の内容は異なりますが、前回調査でも「結婚資金」が第1位でした。

➤ 男女とも「結婚後の資金面」が第1位ですが、女性は第2位以降の回答が分散し、男性は同じ資金面の「結婚資金」の回答が多くなっています。

➤ 男性の各年代で「結婚資金」が上位に入るのに対して、女性は年代によって「職業や仕事上の問題」、「健康上のこと」、「親との同居や扶養」、「年齢上のこと」などの様々な障害が上位にあがってきます。

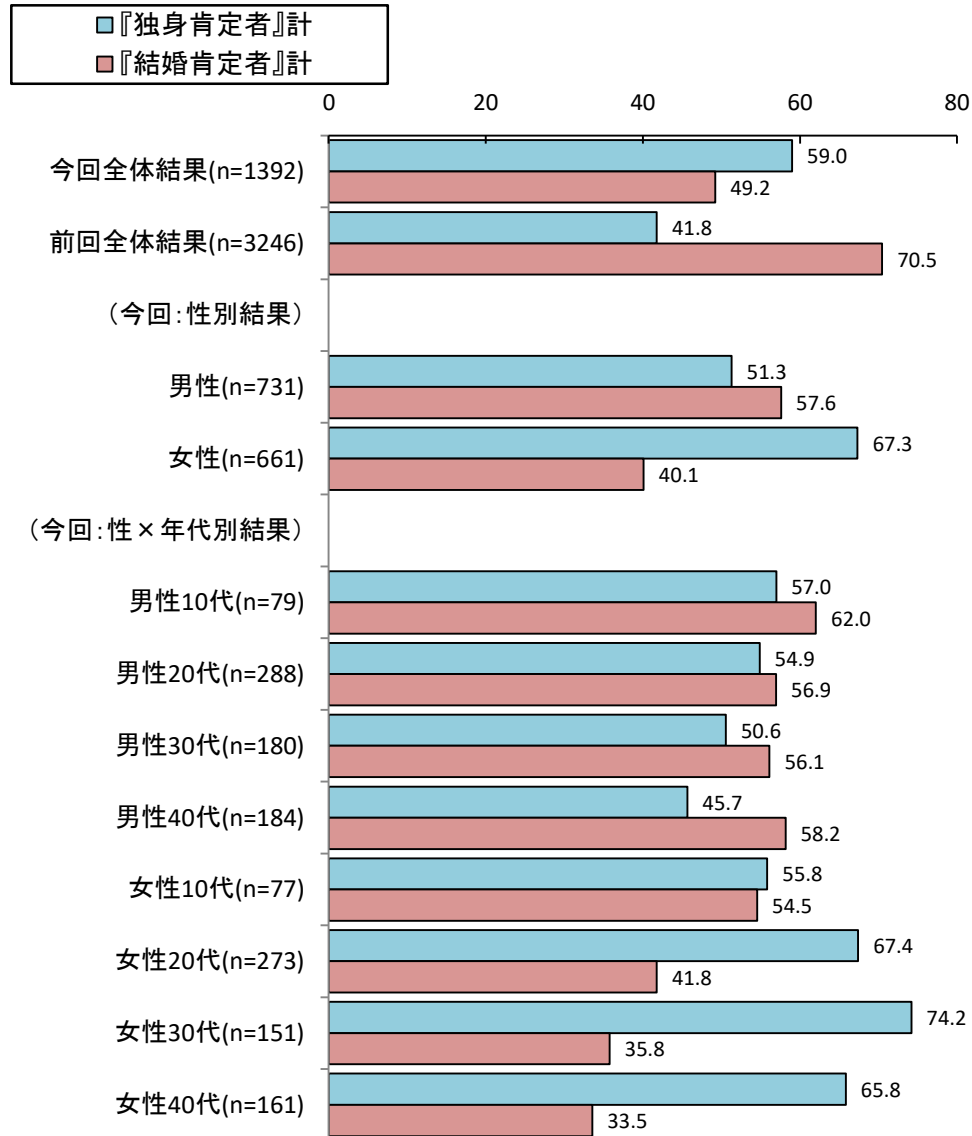
➤ <子育て市民アンケート『新潟市の子育てのしにくいところ』>においても経済面の「子育て世帯への経済的支援が少ない」が第1位でした。

※前回全体結果値は無回答・不明を除外した再計算値を掲載した。
前回調査と今回調査では回答肢の内容が異なる。

「その他」は掲載除外とした。

◆独身肯定感と結婚肯定感の比較について

※<生涯を独身で過ごすというのは、望ましい生き方ではない>という考え方への『反対者＝独身肯定者』と
 <男女と一緒に暮らすなら結婚すべきである>という考え方への『賛成者＝結婚肯定者』の結果を図示した。



- 約6割は、<独身でいることへの否定的な考え方>へ反対している『独身肯定者』です。
 一方で、<同居の場合、結婚すべきであるという考え方>へ賛成している『結婚肯定者』は半数程度です。
- 前回調査に比べて『独身肯定者』は2割程度増加し、『結婚肯定者』は2割程度減少しています。
- 性別による考え方の差異が激しく、女性は『独身肯定者』の割合が『結婚肯定者』の割合を大きく上回ります。
- 男性の各年代で『結婚肯定者』が『独身肯定者』を上回るのに対し、女性の20代以降は、3人に2人程度以上が『独身肯定者』となっています。

※前回全体結果値は無回答・不明を除外した再計算値を掲載した。

◆晩婚化・未婚化進行情勢の主要原因について

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
今回全体結果 (n=1392)	家庭をもつ経済力がない (54.2%)	適当な相手にめぐりあう機会がない (40.4%)	独身の方が自由で気楽 (35.3%)	子育ての経済的負担感 (34.8%)	結婚すること、結婚しないことに世間のこだわりが少なくなった (34.5%)
前回全体結果 (n=3282)	家庭をもつ経済力がない (54.3%)	適当な相手にめぐりあう機会がない (44.0%)	独身の方が自由で気楽 (37.2%)	結婚すること、結婚しないことに世間のこだわりが少なくなった (32.8%)	子育ての経済的負担感 (27.3%)
(今回：性別結果)					
男性 (n=731)	家庭をもつ経済力がない (58.0%)	適当な相手にめぐりあう機会がない (40.6%)	独身の方が自由で気楽 (32.8%)	子育ての経済的負担感 (32.8%)	相手との人間関係を築くことが面倒または難しい (31.9%)
女性 (n=661)	家庭をもつ経済力がない (49.9%)	適当な相手にめぐりあう機会がない (40.1%)	結婚すること、結婚しないことに世間のこだわりが少なくなった (38.3%)	独身の方が自由で気楽 (38.0%)	子育ての経済的負担感 (36.9%)
(今回：性×年代別結果)					
男性10代 (n=79)	家庭をもつ経済力がない (58.2%)	子育ての経済的負担感 (43.0%)	結婚すること、結婚しないことに世間のこだわりが少なくなった (35.4%)	適当な相手にめぐりあう機会がない (26.6%)	子育ての精神的、肉体的負担感 (25.3%)
男性20代 (n=288)	家庭をもつ経済力がない (54.9%)	適当な相手にめぐりあう機会がない (41.7%)	独身の方が自由で気楽 (37.2%)	相手との人間関係を築くことが面倒または難しい (34.4%)	子育ての経済的負担感 (31.9%)
男性30代 (n=180)	家庭をもつ経済力がない (62.2%)	適当な相手にめぐりあう機会がない (43.9%)	子育ての経済的負担感 (32.8%)	結婚すること、結婚しないことに世間のこだわりが少なくなった (29.4%)	結婚に向けた行動をすすめる時間的余裕がない (28.9%)
男性40代 (n=184)	家庭をもつ経済力がない (58.7%)	適当な相手にめぐりあう機会がない (41.8%)	独身の方が自由で気楽 (35.9%)	相手との人間関係を築くことが面倒または難しい (34.8%)	結婚すること、結婚しないことに世間のこだわりが少なくなった (33.2%)
女性10代 (n=77)	家庭をもつ経済力がない (46.8%)	独身の方が自由で気楽 (41.6%)	子育ての経済的負担感 (39.0%)	適当な相手にめぐりあう機会がない (36.4%)	結婚すること、結婚しないことに世間のこだわりが少なくなった (33.8%)
女性20代 (n=273)	家庭をもつ経済力がない (51.6%)	子育ての経済的負担感 (42.1%)	適当な相手にめぐりあう機会がない (37.7%)	結婚すること、結婚しないことに世間のこだわりが少なくなった (37.7%)	独身の方が自由で気楽 (35.2%)
女性30代 (n=151)	家庭をもつ経済力がない (48.3%)	適当な相手にめぐりあう機会がない (46.4%)	結婚すること、結婚しないことに世間のこだわりが少なくなった (38.4%)	独身の方が自由で気楽 (37.1%)	相手との人間関係を築くことが面倒または難しい (34.4%)
女性40代 (n=161)	家庭をもつ経済力がない (49.7%)	独身の方が自由で気楽 (41.6%)	結婚すること、結婚しないことに世間のこだわりが少なくなった (40.4%)	適当な相手にめぐりあう機会がない (39.8%)	相手との人間関係を築くことが面倒または難しい (32.3%)

▶ 本テーマについては、全般的に独身の方のお考えに大きな経年変化は見当たらず、依然として各性・年代とも「家庭を持つ経済力がない」が第1位となっています。

※前回全体結果値は無回答・不明を除外した再計算値を掲載した。「その他」は掲載除外とした。

◆晩婚化・未婚化進行の抑止策について

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
今回全体結果 (n=1392)	乳幼児期から学童期の 子育てにかかる経済的 負担の軽減 (49.6%)	仕事と家庭生活の両立 支援 (43.5%)	社会全体で若者の結婚 や子育てを応援する意 識づくり (35.2%)	出会いの機会の提供等 の結婚支援 (27.5%)	結婚新生活にかかる費 用の負担軽減 (25.3%)
前回全体結果 (n=3238)	仕事と家庭生活の両立 支援 (56.6%)	幼少期から学童期の子 育てにかかる経済的負 担の軽減 (54.6%)	社会全体で若者の自立 や子育てを応援する意 識づくり (35.5%)	若者の就業への支援 (33.4%)	出会いの機会の提供等 の結婚支援 (22.9%)
(今回：性別結果)					
男性 (n=731)	乳幼児期から学童期の 子育てにかかる経済的 負担の軽減 (45.7%)	仕事と家庭生活の両立 支援 (39.7%)	社会全体で若者の結婚 や子育てを応援する意 識づくり (33.9%)	出会いの機会の提供等 の結婚支援 (33.1%)	結婚新生活にかかる費 用の負担軽減 (30.9%)
女性 (n=661)	乳幼児期から学童期の 子育てにかかる経済的 負担の軽減 (54.2%)	仕事と家庭生活の両立 支援 (47.7%)	社会全体で若者の結婚 や子育てを応援する意 識づくり (36.6%)	大学教育費用の負担軽 減 (25.0%)	乳幼児期から学童期の 子育てにかかる精神 的、肉体的負担の軽減 (24.2%)
(今回：性×年代別結果)					
男性10代 (n=79)	乳幼児期から学童期の 子育てにかかる経済的 負担の軽減 (62.0%)	仕事と家庭生活の両立 支援 (51.9%)	結婚新生活にかかる費 用の負担軽減 (35.4%)	社会全体で若者の結婚 や子育てを応援する意 識づくり (31.6%)	若者の就業への支援 (29.1%)
男性20代 (n=288)	乳幼児期から学童期の 子育てにかかる経済的 負担の軽減 (46.9%)	仕事と家庭生活の両立 支援 (38.9%)	出会いの機会の提供等 の結婚支援 (35.4%)	社会全体で若者の結婚 や子育てを応援する意 識づくり (35.1%)	結婚新生活にかかる費 用の負担軽減 (33.0%)
男性30代 (n=180)	出会いの機会の提供等 の結婚支援 (41.1%)	乳幼児期から学童期の 子育てにかかる経済的 負担の軽減 (37.2%)	社会全体で若者の結婚 や子育てを応援する意 識づくり (35.6%)	仕事と家庭生活の両立 支援 (32.8%)	結婚新生活にかかる費 用の負担軽減 (30.0%)
男性40代 (n=184)	乳幼児期から学童期の 子育てにかかる経済的 負担の軽減 (45.1%)	仕事と家庭生活の両立 支援 (41.8%)	社会全体で若者の結婚 や子育てを応援する意 識づくり (31.5%)	出会いの機会の提供等 の結婚支援 (27.7%)	結婚新生活にかかる費 用の負担軽減 (26.1%)
女性10代 (n=77)	乳幼児期から学童期の 子育てにかかる経済的 負担の軽減 (63.6%)	社会全体で若者の結婚 や子育てを応援する意 識づくり (39.0%)	大学教育費用の負担軽 減 (35.1%)	仕事と家庭生活の両立 支援 (32.5%)	若者の就業への支援 (29.9%)
女性20代 (n=273)	乳幼児期から学童期の 子育てにかかる経済的 負担の軽減 (58.2%)	仕事と家庭生活の両立 支援 (47.3%)	社会全体で若者の結婚 や子育てを応援する意 識づくり (38.5%)	乳幼児期から学童期の 子育てにかかる精神 的、肉体的負担の軽減 (25.3%)	結婚新生活にかかる費 用の負担軽減 (25.3%)
女性30代 (n=151)	仕事と家庭生活の両立 支援 (48.3%)	乳幼児期から学童期の 子育てにかかる経済的 負担の軽減 (45.0%)	社会全体で若者の結婚 や子育てを応援する意 識づくり (39.1%)	出会いの機会の提供等 の結婚支援 (25.8%)	若者の就業への支援 (21.9%)
女性40代 (n=161)	仕事と家庭生活の両立 支援 (55.3%)	乳幼児期から学童期の 子育てにかかる経済的 負担の軽減 (50.3%)	社会全体で若者の結婚 や子育てを応援する意 識づくり (29.8%)	大学教育費用の負担軽 減 (26.7%)	乳幼児期から学童期の 子育てにかかる精神 的、肉体的負担の軽減 (25.5%)

➤ 約半数が「乳幼児期から学童期の子育てにかかる経済的負担の軽減」をあげています。

➤ 回答肢の内容・個数は異なりますが、前回調査でも「幼少期から学童期の子育てにかかる経済的負担の軽減」は「仕事と家庭生活の両立支援」に次いで第2位で半数を超えました。

➤ 男女とも「乳幼児期から学童期の子育てにかかる経済的負担の軽減」が第1位です。

➤ 男性30代は「出会いの機会の提供等の結婚支援」が、女性30代以降は「仕事と家庭生活の両立支援」が第1位となっています。

➤ <子育て市民アンケート『少子化対策として有効な支援策』>においては、「子育てに理解のある職場環境の整備」が第1位でした。

※前回全体結果値は無回答・不明を除外した再計算値を掲載した。

前回調査と今回調査では回答肢の内容が異なる。

「その他」は掲載除外とした。